

会員を訪ねて

— 市立釧路総合病院看護部長 名塚優子様 —

「地域医療・看護の担い手として」

宮本みき¹⁾，松田ひとみ²⁾，岡本紀子²⁾

¹⁾ 筑波大学大学院人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻

²⁾ 筑波大学医学医療系

本研究会誌の会員は様々な地域で活躍しているが、誌上で会員間の交流や会員のお人柄にも触れる紹介を行うことは、情報交換にとどまらず研究上の協力関係を構築する上で有益である。このような未来図を描きながら、我々は去る8月末、一足早く涼風の吹く釧路へ赴き、市立釧路総合病院看護部長の名塚優子氏を訪ねた。名塚氏の看護師としての歩みから地域医療における取り組みまで幅広く貴重なお話を伺うことができた。

1. 看護師としての経歴

最初にお会いしたとき我々は総勢7名であったが、病院の2階にある管理エリア内の会議室が準備され、落ち着いた雰囲気の中でインタビューを開始した。おおよそ1時間の約束で、質問内容は事前にお伝えしていた。名塚氏は微笑みを絶やさず、言葉を吟味しながら丁寧に語り始めた。

まず名塚氏の看護師選択までの経緯である。

名塚氏は釧路の出身で、少女時代の夢はアナウンサー、漫画家、看護師の何れかになることであり、女性が自立して社会にも貢献できる職業として最終的に看護師を選択したとのこと。看護教育は北海道大学医学部保健医療学研究院看護学科の前身である附属看護学校で受け、学んだ。卒業後は神奈川県東海大学付属病院小児科と小児外科で臨床経験を積み、子どもがもつ回復への秘めた可能性を

知り、また、子どもの誰もが愛おしく、小児看護に大きなやりがいを感じたという。結婚を機に出身地の釧路へ戻り市立釧路総合病院の看護師として就職し、ご自身も子育てをしながら小児看護だけではなく成人看護の経験も積み、看護のオールラウンドプレーヤーとして着実にキャリア発達を遂げた。平成17年から看護部長となり、管理職として、病院の発展や後輩育成のための教育的視点ならびに看護職500余名の人生の重みを受けとめながら個人の幸福を念頭に置いた支援体制を整えていった。

2. 市立釧路総合病院の使命と看護管理者の視点

さて、名塚氏がその職業人生の大半をささげたといっても過言ではない市立釧路総合病院であるが、明治5年に設立された官立釧路病院を前身とし、現在では643の病床、23の外来診療科を備える東北北海道の基幹病院であり、ドクターヘリを運航し、釧路根室圏域で唯一の第三次救急医療を担う救命救急センターも備えている。この地域は回復期病院が少なく、病床数に比べて医療従事者も不足しており、特に医師や薬剤師が不足しているという現状にある。名塚氏は以前から2025年問題をはじめ地域の高齢化と過疎化を見据えて、市立釧路総合病院が急性期病院としての役割を果たしながら回復期の患者様や家族も支えられる地域連携システムの構築を目指し

ている。その一つに将来の人材育成がある。病院職員、そして名塚氏も地元の小・中・高校生を受け入れ体験学習や授業を行う他、研修医と高校生と札幌医科大学の医学生が交流する場を設けて若者の釧路市の理解を深めるなど、医療・福祉への関心を高めている。一方、病院に勤務する職員に対しては、ワークライフバランス、キャリアアップのための環境を整備している。具体的には、認定看護師の公費育成、緩和ケア病棟のある病院や小児アレルギーなど専門領域での長期研修への参加、育児休暇や短時間勤務制度の利用の促進などがある。職員の多くは釧路の出身であり、職業人としてのみならず個人としても自己実現を成し遂げている。このように、名塚氏は地域に溶け込み、人と人とを繋げて医療の質の向上に携わる専門職を育てている。名塚氏の志は職員にも享受され、看護師の離職率が全国平均をはるかに下回ることにも繋がっている。

3. 修士課程で学ぶことの選択

名塚氏は看護部門のトップとして多くの職

員を率いていくために系統立てられた知識を修得したいと考え、現職に就きながら札幌市立大学大学院で看護管理学を学び、修士号を取得した。名塚氏が地域で行っている看護管理者としての取り組みは、学術的な知識に裏打ちされた実践である。そしてまた、名塚氏が仕事と家庭を両立させながら学問の探求にも努めてきた歩みは、市立釧路総合病院が教育目標として掲げる「ワークライフバランスを取り入れながら生涯学習する姿勢を継続し、キャリアアップと後輩育成のための役割モデルの実践」に他ならない。名塚氏のこれらの実践は、着実に成果を挙げている。

院内ですれ違う職員は皆、患者様に限らず誰に対しても明るい笑顔で挨拶をし、優しく声をかけながら接しているのが大変印象的で、病院全体に温かい雰囲気があった。

末筆ながら、我々を温かく迎え、多くの示唆を与えて下さった名塚優子看護部長、高平真院長ほか市立釧路総合病院の皆様にご心より御礼申し上げます。



連絡先：宮本みき

〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学総合研究棟 D310 室
筑波大学大学院人間総合科学研究科 ヒューマン・ケア科学専攻

Tel : 029-853-2984

E-mail : s1230366@u.tsukuba.ac.jp